**8 条件文**

以下は、Javaの条件文のサンプルコードです。

1. **if**文を使用した場合の例：

int x = 10;

if (x > 0) {

System.out.println("xは正の数です");

} else if (x < 0) {

System.out.println("xは負の数です");

} else {

System.out.println("xは0です");

}

上記の例では、**x**が正の数かどうか、負の数かどうか、あるいは0かどうかに応じて、それぞれ異なるメッセージを表示するようになっています。

**2)switch**文を使用した場合の例：

int dayOfWeek = 3;

switch (dayOfWeek) {

case 1:

System.out.println("月曜日");

break;

case 2:

System.out.println("火曜日");

break;

case 3:

System.out.println("水曜日");

break;

case 4:

System.out.println("木曜日");

break;

case 5:

System.out.println("金曜日");

break;

case 6:

System.out.println("土曜日");

break;

case 7:

System.out.println("日曜日");

break;

default:

System.out.println("無効な曜日です");

break;

}

上記の例では、**dayOfWeek**が何曜日かに応じて、それぞれ異なるメッセージを表示するようになっています。例えば、**dayOfWeek**が3であれば、"水曜日"というメッセージが表示されます。

3) 変数と比較演算子と条件文

以下は、Javaの変数と比較演算子と条件文を組み合わせたサンプルコードです。

int age = 25;

if (age >= 18 && age <= 64) {

System.out.println("社会人です");

} else if (age >= 65) {

System.out.println("高齢者です");

} else {

System.out.println("未成年です");

}

上記の例では、**age**という変数に年齢を格納しています。そして、**if**文を使用して、**age**が18歳以上64歳以下である場合には"社会人です"というメッセージを表示し、**age**が65歳以上である場合には"高齢者です"というメッセージを表示し、それ以外の場合には"未成年です"というメッセージを表示するようになっています。**>=**は比較演算子であり、**&&**は論理演算子です。